第17回コブレンツ国際ギター・フェスティバル

17.Koblenz International Guitar Festival & Academy　25.May-1.june 2009

2009年5月25日～6月1日

文・写真：テレーズ・ワシリー・サバ
翻訳：関塚亮司

今や恒例となったコブレンツ・スター・ギタリスト・チャリティー・ゴルフ大会が、コブレンツ国際ギター・フェスティバル開催日の前日の日曜日にヤコスバーグ・ゴルフコースで開かれた。このゴルフ大会はラッセル夫妻（デイヴィッドが写真右、マリアが写真中央）が主宰するNGOの資金集めを目的とするもので、参加したギタリストはデイヴィッド・ラッセル、ロバート・ブライトモア（写真左）、LAGQのジョン・ディアマン、ラッセル・ポイナー、フェスティバルの監督であるゲオルグ・シュミットなど。リラックスした楽しいフェスティバルのスタートとなり、多額のチャリティー資金が集まった。夕刻、ゴルフコースで開かれたパーティーでは、マイク・ラインハルト・トリオがジプシー・スウィングを演奏した。メンバーは、ジャンゴ・ラインハルト・ファミリー（the Django Reinhardt family）の兄弟マイク、モロ、サッチャである。

コブレンツ国際ギター・フェスティバル兼アカデミーは、今回第17回開催にあたり、セリン、ペペ・ロメロの業績を讃えてライフ・アチーヴメント賞を贈呈した。授与式はミッテライン博物館という名のコブレンツ・アート・ギャラリーで行なわれた。クラシックギタリストのアレクサンダー＝セルゲイ・ラミレスはドイツ人の母とペルー人の父の間に生まれたが、その父アントニオ・マロは高名な芸術家であり彫刻家で、ライフ・アチーヴメント賞の賞品の一部として特別な彫刻作品を製作した。その授与式では、彼と彼のもう1人の息子であるラファエル・ラミレスの芸術作品が展示された。式典は非常に感動的だった。セリン、ペペ・ロメロは、共に目に涙を浮かべながら、賞を受け取り、スピーチをした。そして、2人の挨拶が多くの聴衆の目に涙を誘った。

コブレンツ国際ギターコンクール“フーバート・ケッペル2009”の審査員長であるコンラート・ラゴスニックは、このコンクール兼フェスティバルについて、私に次のように言った。「長年にわたりコブレンツ国際ギター・フェスティバルは常に高いレベルを誇ってきた。それにもかかわらず、今回第17回のコンクールは、これまでで最高の水準であったことに審査員全員が喜び、驚いた。今や、このフェスティバル・コンクールが、世界で最も重要なギターイベントになったことを疑う者はいない。今回のイベントのハイライトはセリン、ペペ・ロメロの偉大な業績に対して感動的なセレモニーが行なわれたことである。」

左からセリン、ペペ・ロメロ、インゲボルグ・ヘンツラー博士、ゲオルグ・シュミット

コブレンツ国際ギター・コンクール“フーバート・ケッペル2009”の入賞者は、第1位：フロリアン・

ロス・ロメロス・ギターカルテットとクリスティーナ・ポスカ指揮ライン州立フィルハーモニー管弦楽団による〈アンダルシア協奏曲〉

ラルース(フランス)賞金3,000ユーロとコンサート10回、第2位：マグダレーナ・カルチェヴァ（ブルガリア）賞金2,000ユーロとコンサート5回、第3位：藤元高輝（日本）賞金1,000ユーロとコンサート3回が授与された。

毎晩行なわれたコンサートは、それぞれの年代を代表する傑出したギタリストたちによって行なわれ、それぞれがアプローチの異なるギター演奏の祭典であった。演奏者は、マヌエル・バルエコ、デイヴィッド・ラッセル、エリオット・フィスク、ロベルト・アウセルだったが、みな素晴らしいリサイタルで、まったくスタイルの異なる個性的な演奏だった。巨匠によるマスタークラスも行なわれたが、フーバート・ケッペルはバッハの作品に焦点をあてた講習を行なった。マスタークラスのハイライトは、ペペ・ロメロがクリスティーナ・ポスカ指揮ライン州立フィルハーモニー管弦楽団を使って行なったホアキン・ロドリーゴの〈アランフエス協奏曲〉の演奏指導だった。学生がプロのオーケストラをバックにギターコンチェルトの演奏指導を受けるのは非常に珍しい。ペペ・ロメロはホアキン・ロドリーゴの友人であり、仲間であり、多くの作品の編曲者として長時間一緒に過ごした経験から、作品の背景と解釈について詳しく説明した。

フラメンコの偉大な愛好家であるペペ・ロメロは、フェスティバル期間中にクリスティーナ・ポスカ指揮ライン州立フィルハーモニー管弦楽団とフェデリコ・モレノ＝トローバの作品〈フラメンコ・コンチェルト〉(Concierto en Flamenco) をドイツ初演した。この作品は最近になってペペ・ロメロによって発掘されたもので、元は優れたフラメンコ・ギタリストであるサビーカスの要請で作曲されたもの。また、当日はロス・ロメロス・ギターカルテットによるホアキン・ロドリーゴの〈アンダルシア協奏曲〉も演奏された。

C＝テデスコ作曲、ロバート・ネイサン作詩の〈アイオワの朝〉もドイツ初演された。この作品は1953年に書かれたが、これまで演奏されなかった。イタリア人ギタリストのロレンツォ・ミケーリによって再発見され、2008年8月8日にイタリアで世界初演された。詩の朗読は、ロックバンド：ダイアー・ストレイツ（Dire Straits）のマーク・ノップラーの兄、デイヴィッド・ノップラーによって行なわれた。

ヴィラ＝ロボス没後50年を記念してファビオ・ザノンが行なったレクチャー・リサイタルは、非常に魅惑的だった。独奏曲を全曲演奏したが、演奏の合間にそれぞれの作品のさまざまな記譜について解説し、手稿譜によってはマックス・エシッグ社出版譜とは異なる音楽的アイディアを組み入れる手法の可能性について論じた。フ

ペペ・ロメロによる〈アランフエス協奏曲〉のマスタークラス

左からゲオルグ・シュミット、サバレス弦社長ベルナール・マイヨ

デイヴィッド・ラッセルによるマスタークラス

ァビオ・ザノンの演奏は、注目に値する素晴らしいもので、聴衆からの圧倒的な賛辞を得ていた。

フェスティバル期間中に開催された数多くのコンサートはすべて満員の盛況で、演奏会の終了直前まで増え続ける聴衆のために椅子を準備しなければならなかった。アニエロ・デジデリオの演奏には聴衆から歓声があがった。彼のリサイタルでは、フェスティバルの監督であるゲオルグ・シュミットが彼のために作曲した4作品が世界初演された。この曲は〈最後のアンコール〉(Letzte Zugaben) というタイトルで、妖精が夢の中に現われて去っていくような不思議な感動を与える作品だ。アンコールに相応しく、いつまでも聴き続けていたいという欲望を聴衆に持たせるような演奏だった。

一方、若手演奏家によるリサイタル・シリーズと、コブレンツ国際ギター・コンクール“フーバート・ケッペル”のこれまでの優勝者によるソロ・リサイタルが行なわれた。その中にはガブリエル・ビアンコ、ゴラン・クリヴォカピチのソロ、そしてウラディミール・ゴルバックのケルン・デュオとの演奏が含まれていた。

さらに週末にはジョショ・ステファン・カルテットによるジプシー・スウィングと、特別ゲストであるフィンガー・スタイルのギタリスト、リチャード・スミスの演奏があった。ステファン・シュレンパーは音響(acoustics)について有意義な講義を行なったが、いろいろなホールや距離によるギターの音量レベルの変化を具体的に例示した。

アニエロ・デジデリオは、彼の2人の兄弟：ヴァイオリニストのジェンナロ・デジデリオとピアニストのガエタノ・デジデリオに、打楽器奏者のサルバトーレ・ミナーレを加えて作ったカルテット・フリオーソ (Quartetto Furioso) によりヴィヴァルディの〈四季〉とピアソラの

デイヴィッド・ノップラー、ロレンツォ・ミケーリらによる〈アイオワの朝〉

〈四季〉を演奏したCDを最近レリースしたが、これについて記者会見が開かれた。録音は、デトレフ・エンゲルハールが設立したコネクター（Connector）というクラシカル・クロスオーバー・レーベルによって行なわれた。デトレフ・エンゲルハールは、ヴィム・ウェンダースと組んで大成功したキューバの音楽家の映画『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』や最近の映画『キューバの息子達』の音楽をレコーディングしている。

フェスティバル期間中、素晴らしいコンサートとマスタークラスが行なわれたが、同時にミニ・ギターフェアも開かれた。多数のギター製作家による楽器の展示が行なわれた。参加者はミカエル・ウィックマン、ジョージとロバート・ゴス、ピーターセン、アントニウス・ミューラー、トーマス・フレッドホーム、ホアキン・シュナイダー、ギターとリュートの製作家：マリオ・グロップ、ギター製作家：ズラトコ・パロフなど。もちろんギターのディーラーも参加していた。イギリスのマイルズ・ロバーツや、ドイツのカールスルーヘで有名な“ギター”（Die Zupfgeige）ショップからマティアス・アドラーなど大勢来ていた。フェスティバルには、サバレス弦の社長：ベルナール・マイヨ、エドムンド・ブロチンガー、ペペ、セリン・ロメロ・ギターメーカーなど多くの特別ゲストが参加した。コブレンツ・フェスティバルはまさにクラシック・ギターのための場所であり、我々は常にクラシック・ギター界の有名人に囲まれていた。この友情のこもった雰囲気は、誰でも容易にヒーローたちに会って話が出来ることを意味している。だから、そこにいるだけで大きな刺激を受けられるが、唯一悲しいのは、最後には皆家に帰らねばならぬことだった。

左からユーゲン・ニンブル、アニエロ・デジデリオ、デトレフ・エンゲルハール

左からフーバート・ケッペル、エリオット・フィスク、デイル・カヴァナー

左からアルフレッド・アイクホルト、ロベルト・アウセル、コンラート・ラゴスニック、アレクサンダー＝セルゲイ・ラミレス、

後列左からリト、セリーノ・ロメロ、ゲオルグ・ショミット、ラッセル夫妻
前列左から、エリオット・フィスク、マヌエル・バルエコ、ファビオ・ザノン